

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレムについて

平成27年7月24日大会組織委員会発表



【エンブレム採用作品制作者】

佐野 研二郎

(アートディレクター。1972年生。亀倉雄策賞等多数の賞を受賞。)

【コンセプト】

世界は、2020年に東京でひとつのTEAMになる歓びを体験する。
すべての人がお互いを認め合うことでひとつになれることのその大きな
意味を知ることになる。

その和の力の象徴として、このエンブレムは生まれました。

すべての色が集まることで生まれる黒は、ダイバーシティを。
すべてを包む大きな円は、ひとつになったインクルーシブな世界を。
そしてその原動力となるひとりひとりの赤いハートの鼓動。

オリンピックとパラリンピックのエンブレムは、同じ理念で構成されて
います。

オリンピックエンブレムは、
TOKYO、TEAM、TOMORROWのTをイメージし、
パラリンピックエンブレムは、
普遍的な平等の記号＝をイメージしたデザインとなっています。

2020年はもうそこに来ています。
このエンブレムのもとにひとつになって素晴らしいオリンピック・
パラリンピックをつくりましょう。

【活用の基本的考え方】

2020年大会の成功に向け、都民一人ひとりが様々な形で
オリンピック・パラリンピック大会に関わり、参加することの
できた感動と喜びを心のレガシーとして残るものとしていく
ために、両方のエンブレムを重要なアイテムとして、オール東京、
オールジャパンで活用していく。

具体的には、

- 1 都庁舎・議事堂への大会エンブレム掲示や、区市町村等の
庁舎、都立スポーツ・文化施設等へのポスター・のぼり旗の
掲示をはじめとして、シティ装飾を計画的・統一的に実施し、
開催都市の雰囲気を出していく。
- 2 都や区市町村が実施する関連イベントなどにおいて、
ポスター・のぼり旗などを幅広く活用することにより、
イベントに参加した人々の心に生まれる、共に大会を成功
させたいという気運を醸成していく。
- 3 被災地をはじめとする他道府県においても、
大会エンブレムの入ったポスター・のぼり旗等を活用して
頂き、日本全体での気運醸成を図っていく。